

木馬会会報 (第67号)

＊有馬記念特集＊



96/12/19

～木馬達の予想～

本誌 トゥインクルダンディの予想

◎サクラローレル ○ファビラスラフィン ▲ホクトベガ

△マヤノトップガン、ヒシアマゾン、マーベラスサンデー、ロイヤルタッチ

それなりの高配当となる有馬記念だが、穴をあける馬には特徴があると思う。ダイユウサクは内をついてのまさかまさかの直線一気だったし、メジロパーマーや昨年のマヤノトップガンは単騎逃げをうって成功した。

今年も高配当を狙うなら、どちらかに当てはまる好調馬を軸にすればいい。そして今年は例年以上に有力馬が先行馬、そもそも中山 2500 は先行馬有利だけに、必要以上に競合ってくれたときの差し、追込み馬に触手が動きかける…ところだが、それは、中山の馬場が良ければの話。今年の中山は時計がかかっており、良馬場でも騎手が口を揃えて「のめる」という状態で、こんなときに直線一気はまず決らない。そこで狙いは、重馬場、ダート得意の馬格のあるパワー型の先行馬で良いだろう。

と思って見てみれば、やはり本命はサクラローレル。重馬場での走りは良馬場以上に1級品、そして立派な馬格、天皇賞ではバブルガムと違いほとんど競馬をしていないだけに消耗してるとも考え難く、心配なのは2箇月近く間隔が開いたための馬体重と横山が格好良く勝とうと色気を出して天皇賞のときのように最後方から追走してしまうくらいだが、1週前の追いきりも絶好のようだし、横山がものすごい下手な乗り方をしない限り連は外さないだろう。

対抗も重馬場得意のファビラスラフィン。JC 2着だが、前残り競馬での先行しての2着だけに反動はそれほど心配しなくて良いだろう。それよりもJCで最後にシングスピールを差し返してきた勝負根性がとても不気味だ。

そして大穴ホクトベガ。前走は明らかに太目に仕上げており、今回は芝向けに絞ってくると考え、使いづめでも上りめが見込めるし、荒れた馬場も有利。エリザベスのときのように後方からでは厳しいが、連勝中のダートのように先行さえすれば、このメンバーでも今回は楽しめるはずだ。

栄蔵の一番弟子 TP

◎…サクラローレル ○…ロイヤルタッチ ▲…マヤノトップガン

△…タイキフォーチュン、マーベラスサンデー、ヒシアマゾン、ファビラスラフィン

～TPの屁理屈～

実力馬が大挙して回避したために、つまらなくなったジャパンカップ。それで売り上げも大幅ダウンしたわけだが、その分今年の有馬記念にはなかなかのメンツが集まった。

さて、本命だが、11月中旬に寝違えたということがちょっと不安なローレル。まあ、自分で体を作るタイプだし、休み明けも減法走る。寝違えたので、がちがちの本命とはいえないが、まあ連をはずすことはあるまい。その理由は以下を読み進めてもらえばわかる。天皇賞からぶっつけのローテーションの馬の成績が全くさえないが、これはいままで、2400を走れる実力馬はジャパンカップを使っていたか

らで、天皇賞からぶっつけのローテをとっていたのは、2000 までがベストの距離だが、ファン投票で選ばれたし、ゆっくりしたローテなので使ってみか的な馬だったのである。例えばチトセオー、ヤエノムテキ、プレクラなどが代表的なところか。逆に言えば、長距離も走れるメジロパーマーは勝っているのだ。だから、このデータは今年に限っては全般的を外れている。

相手は非常に難しい。まず、牝馬について書かせていただく。今年は4頭のG1牝馬が出走するので話題になっている。確かに2年前、私の愛人であるヒシアマゾンが15年ぶりに牝馬として連対を果たした。しかし、2年前の有馬記念は、ブライアンは別格として、どう考えても2000までのネーハイシーザーが2番人気、当時GIIIしか勝ってないアイルトンシンボリとチトセオーが3、5番人気。休み明けライスシャワーが4番人気だったのだ。今年はメンツのレベルがまるで違うのだ。ということで、牝馬は連穴以上の評価はできない。もちろん、女傑ヒシアマゾンが本当に復活したのなら、軽くは扱えない。ちょっと河内が変わったのが気になるが。やはり中館が乗ってこそ「あんた、つかまってなさいよ」って感じで女傑っぽくてよかったなあ。また、いくら好走しても人気のでないファビラス。この馬、NHKマイルの惨敗ぶりからよくいる淡泊な外国馬というイメージを持っていたが、ここ2戦の走を見ると想像以上に強い。ジャパンカップ最先着馬はまるで走らないし、牝馬だし、本来ならまずいらぬのだが、底を見せぬ強さが不気味なので、連穴にはあけておこう。

さてさて、サンデー軍団だが、いつも自分の力はきっちり出すタイプで、非常に予想しやすい。マーベラスは残念ながら、前走でGIIレベルというのがはっきりわかった。今回も3、4着が精一杯で、他の馬の凡走で浮上する、という考え方が妥当だろう。しかしはっきりいってマルカやホクト、ダンス、ジェニユインには絶対負けない。この馬は一つの壁的な存在になるので、極端な穴はこのレースでは絶対来ない。ロイヤルが非常に不気味。菊花賞最先着馬でローテが良いのと、岡部もジェニユインを捨ててこちらに騎乗。前走のような落ち着きがあれば、5、6番人気という気楽な立場から一発があっておかしくない。レース内容的にはメジロライアンに非常に良く似ており、G1できっちり力を出す。中間も絶好と聞く。

4歳馬の活躍が目立つ有馬でもう一頭無視できないのがタイキ。確かに一発屋だが、叩かれてよくなるタイプだし、前走の結果から2500が長いとも思えない。ジャパンカップの6着というのは疲労の残らない良い着順であるし、中間の調教も最高。そろそろ一発ありそうな予感。

展開面を考えてみると、逃げるのはカネツクロスで間違いない。その後に掛り気味にジェニユイン、ファビラスといったところか。最近スタートダッシュのつかないトップガンはその後だろう。カネツは大逃げに出るかもしれないが、ここ最近のレースぶりから4角手前でもう一杯。この頃にはアマゾンやローゼンなんかも先団に取り付きにかかるはず。ここが勝負の分かれ目だろう。ここで早めにしかけると最後の坂で脚が上がる。しかし余りに悠長に構えると今の力のいる馬場では伸び切れない。一呼吸おけるゆとりを騎乗者に与えることができ、しかも力のいる馬場をものともせず追い込んでこれるのは、やはりローレルしかいない。展開的に、つぶれたカネツを早めに交わして先頭に立つマヤノがやっぱり単穴評価になる。そうすると、交わされたファビラスはやっぱりつらいのかなあ。

メイデンホークは情けなかった。せっかく流しで買ってやったのに。テメーいつかこの借りは返せよ。ちょっと調子が悪かった土・日で8戦3勝。まあ、回収率の新記録は確定的だから、今週は思い切ってやります。現在の回収率90.4%

こだわりの“へな”

有馬記念（グランプリ）

◎・・・サクラローレル ○・・・ジェニユイン ▲・・・ヒシアマゾン

△・・・ホクトベガ マヤノトップガン タイキフォーチュン エルウェーウィン

・・・“へな”の理屈・・・

昨年の有馬の木馬会会報では確か“絶対岡部ジェニユインだ”と書いていたような気がする。まさか“風”にやられてしまうなんて思いもせずに。今年も彼は“風”によって走る気をなくしてしまうのだろうか。それともペリエという新しいパートナーを得て頑張ってしまうのか。ダービー（2400M）2着という実績があるにもかかわらず、あまりにも距離の不安感にとらわれすぎて人気になさすぎる気がする。仮にもG12勝2着2回の馬。本命にはしづらいが、狙って面白い一頭だと思う。でもやっぱり本命はサクラローレル。天皇賞（春）、オールカマーのレースを見ると少なくともトップガンには負けない。前走こそ首差負けてしまったが、距離の延びた今回はまず大丈夫だ。これ以上言わなくても皆さんおわかりでしょうから言いません。一つだけ不安点を挙げるとすれば、最近全然“のれてない”横典だけか。トップガンもやはり恐いが、どうも今の中山に合わないような気がする。ので、復活女傑アマゾンと力女のホクトベガでどうか。

どこかの記事で今年はドラマの起こる年だと言っていた。オグリ・テイオーと3年ごとに起こっているのでちょうど今年なのだろう。何だろう？と考えてみたものの、とりたてて何もない。ここはもう一度エルウェーウィンにでも勝ってもらいますか。こうなったらそれしかないね。でもやっぱり失礼かな。

ドロシジョ

とうとう、有馬記念。長かったG1レースもこれで終止符。ボーナスがカスカスの私にとって、ここで当てて善い年、寒い冬を越したいんだけど。有馬記念、私はやっぱりサクラローレルから行きたいと思います。状態も良さそうだし、斤量も軽いし。対抗は迷いました。でもやっぱり、最後は岡部さんを信じて、ロイヤルタッチ。メニーフレンズさんはやっぱり社台の馬を買うんですか？

皆さん、いいクリスマスが迎えられるといいですね。ちなみに、私は今年のクリスマスは敦賀で過ごします。ちょっと寂しいよなあ、やっぱ。でもおそらく残業しちゃうんだと思うんだけど。

メニーフレンズ

◎ホクトベガ ○ダンスパートナー ▲ジェニユイン

△サクラローレル、タイキフォーチュン、ヒシアマゾン、マルカダイシス

そもそも私は、マヤノトップガンが大嫌いである。ナリタブライアンも嫌いだったが、それ以上だ。憎悪といってもよい。何故かというと、

1. 名前に品がないこと。
2. よく知らない血統であること（ブライアンは、一応血統がまともである）。
3. 牧場・馬主がマイナーであること。

4. 昨年、僕のジュニインから、最優秀4歳牡馬と年度代表馬の座を汚い手を使い、奪ったこと。等である。

超一流馬は、やはり一流の血統、一流の牧場、そして一流のスタッフによってはじめて、完成されるのである。4歳の逃げ馬が、有馬を勝つのは古くはあのトウショウボーイ、リードホーユー以来の伝統であるから、昨年の彼の勝利はフロックであるといつてよい（ところで、どなたか「マヤノトップガンが連にからむかどうか」で私と勝負しませんか）。

さて、今年の優勝馬はおそらくまた社台の馬だとおもうが（バブルやダークが出てこなくてよかった）、どれが勝つかさっぱりわからないので、今年は2着狙いでいきます。

荒れた馬場、最近（？）の好調さ、コースがセコイ中山2500Mであること、等から今年は、ホクトベガ嬢で締めくりたいと思います。

心配御無用！

それにしても先週のスプリンターSには参ったよ。G2レベルのレースで、くそ面白くも無かった。自信を持って消したワシントンが粘ったちゃうんだからな。でも不利を受けたからといってペガサスは届かなかっただろう。君を信じた僕が間違いだったよ。春にまた出てきてももう買わないもんね。ブツブツ。ペガサスと勝利の女神は使い減りするタイプで、休み明けに好走することがこれにて証明された。女神は消してもMキスは買えないよな、ガックン。

所詮G1は付き合い程度にやって特別レースにどかんといった方がいいのかもね。有馬記念はほどほどにして今週はXマスSで勝負します。マーシャルとブロスで勝負。

所で先週は鬼脚を披露したスピードワールドが早くもNHKマイルの候補生に名乗りを上げた。もう追いかけてちゃうもんね。（馬券も中）

それでは今週の有馬の一言コメントを始めます。

Eウィン : 格下で論外。もし単にきたら競馬を辞めてやる。

カネツクロス : 馬場は向きそうだが、展開面での不利は否めない。

Sローレル : 連軸としては最も安定。馬場も味方してくれそう。でも買いたくない。

ジェニユイン : 距離不安は心配ない。後は力関係のみ。叩き3走目のローテにも好感。

Tフォーチュン : 叩き良化型。穴として期待。

Mサンデー : 余りに弱気な厩舎コメントを信じる。

Dパートナー : 使い過ぎの牝馬。

Mブリッジ : 参加賞だけ。

Mダイシス : そう何度もダイユウサクは出るわけではない。自信の消し。

Mトップガン : 実力は認めるも馬場が向くか疑問。天皇賞組であればまだサクラか？

Fラフィン : この馬はアマゾン以上の化け物かも。叩き3走目のローテも魅力。

ヒシアマゾン : 人気先行型、前走程度で人気になるなんて。自信をもって消し。

ホクトベガ : 牡馬の一線級に入ると厳しい。消し。

Rタッチ : 正直このメンバーでは苦しい。岡部と菊から好走馬で出てることに期待。

Rカバリー : 菊でG3級であることが判明。消し。

以上から、Sローレル、ジェニユイン、Tフォーチュン、Mトップガン、Fラフィン、Rタッチの6頭のBOX15通りで決まると見ている（これにはかなり自信有り）。後はオッズとの商談。

本紙の予想では、戦前はレース体系整備に伴い4才馬不利との様相だが、ここはマル外4才2騎を

大抜擢したい。(でもこのとおриには買わないと思います)

◎Tフォチュン ○Fラフィン ▲Sローレル
△ジェニュイン △Rタッチ △Mトップガン

ライスシャワシャワ

ライスシャワの予想はよそう!!

あれよ、あれよという間に有馬記念。先週のスプリンターズSで初めて会報上での中となりましたが、実際には馬券を買っていたわけではなく(フワパークとスピードオの1点しか買っていませんでした)、ここまで9連敗中。せめて最後だけでも取れば、すっきりと1年を終わることができるのですが、...

今年はメンバーも揃い、直線は見ごたえのあるレースが期待できそう。カネツクロスが逃げ、ファビラスが追いかける展開になるであろうが、これらはサクラをはじめとした差し馬達の格好の標的となり、逃げ粘るにはかなり厳しそう。まあ、カネツが逃げ切るのは論外としても、ファビラスを後続がいつ捕まえるかでしよう。今の時計のかかる中山の馬場を考えると、強烈な追い込みがはまるとは考えにくく、好位差しが理想でしょう。

本命は素直に◎サクラローレル。天皇賞ではノリのポカにより脚を余しての3着となってしまったが、まさか2度同じミスはしないはず。現役最強馬である(と思いますが)この馬は不利なくまともに走れさえすれば、間違いなく勝てる。マヤノのすぐ後ろを付いて回り、4角を過ぎて大外に出してくれさえすれば、馬が自分から勝ちにいくでしょう。頼むから内に突っ込むなんてことはしないでね。今年が最後の勝太郎氏に最初で最後の有馬記念をプレゼントして欲しい。

相手には、○ヒシアマゾン。休み明けの女王杯は2着降着という結果だったが、走りには復活の兆しが見えた。一叩きされて上積みもあるだろうし、前走3番手追走から直線抜け出しを図ったように、今回もある程度前々での競馬をしてくれれば、連は確保してくれるものとみる。鞍上が中館から河内に乗り替わったが、アグネスパレードで十分にアマゾンの脚は把握しているだろうからまず問題無い。斤量も54kgと最近にない軽さで走れるのも魅力である。

ローレルをブライアンに例えれば、おとしの有馬記念と同じ結果になるものと思われ、この2頭で堅いと思うが念のためということで、▲タイキフォーチュン。マイルCの後、いまいちパツとしないが、そろそろ走ってもいい頃。一発はまればの脚は持っていると思うのであるが、...△にマルカダイシス、マーベラスサンデー。マルカははじめ対抗位には考えていたが、スプリンターズでの熊沢の負け方で、あまりにもダイユウサクとだぶらせて報道され、ちと穴人気になりすぎそうなので、△迄。前の週に惜しい負け方をして、数年前に穴を開けた騎手だからというだけで勝てるほど甘くはない。一方、マーベラスは天皇賞の負け方がG1ではちと足りないのかなあということでこの評価。

ふえら

何事もなければダンスインザダークからながそうと思っていた有馬記念。とうとうやってきました。みんな僕の知っている馬ばかり。楽しい、うれしい、ちょっといきそうです。考えるだけでも楽しくて楽しくてわくわくします。

予想に入る前に、ミスターXへ一言。境調教師があなたのことを、反面教師とか負馬投票券請負人とか負け犬のフェラロとか豆腐ダイエット野郎とか呼んでいるのはご存知ですか。かわいそうに。でも僕はあなの貴重な存在に敬意を表して決してそんなことは申しません。ただただ尊敬し続けます。だ

から、木曜日に3枚ほど決裁書を持ってまいりますが何も言わずに押印してくださいませ。

さてさて、私の本名馬不在の有馬記念。順当にいけばサクラローレルが勝つのでしょうか、さくらと名のつく馬と横典が嫌いな私は決して本命にはいたしません。本命にはブライアンよりも常に強いと言われていたビワにG1で勝った実績のあるエルウェーウィン。彼は私が初めて競馬を見に行ったときに万馬券をプレゼントしてくれそうになりました。きっと、引退式を終えたブライアンに「私の兄はずっとあなたの背中を追い続けていました。あなたは、兄の永遠のライバルであり、そして初恋の馬だったのです。」と幕張ばりのキメ文句を言われ、われを取り戻したのに違いありません。今の彼ならばローレルよりも絶対強い。と言いたかったのですが、やはり冷静に考えて△どまり。そう言えば私の大好きなジェニュイン、彼は私と性格が似ています。彼は今回は絶対走りません。この前一生懸命走ったし、冬休みも目の前だし、寒いし、それに今回はあまり期待されてないし、絶対に走りません。でも好きだから△。そして忘れてならないのは冬になると活躍しはじめる私の次兄、高倉泰希フォーチュン。やつは暑いときはぜんぜん走らないくせに冬になるとよく走る。何かに取り付かれたようによく走る。おまけに、この前は抽選で北海道3泊4日のクーポンを獲得するほどの強運も見せた。△の印を打とうではないか。

私はミホノブルボンが大好きです。ブルボンに魅せられて競馬を始めました。彼のことをヒデホブルボンなんてお茶目に呼んでいたころもありました。だから、菊花賞2着馬には敬意を表します。ステージチャンプもトウカイパレスも大好きです。だからロイヤルタッチには▲印をプレゼント。と言うことは菊花賞馬にはものすごい評価を与えるということで、トップガンには○印を打ちます。あの走る姿には引き付けられるものがあります。はっきり言って大好きです。古い言い方をすれば村下孝蔵の「初恋」のようなものです。

で、本名馬はと言われると、ヒシアマゾンとマルカダイシスはミスターXが絶対にくると言っていたから絶対に来ないし、出走を迷っているファビラスは疲れていそうだし、太ったマーベラスも来そうにないし、牝馬には有馬記念は荷が重そうだし、となると、さ、さ、さ、サクラローレル? でも本当に嫌いなんです。どうしようかなあ。そうそう、日産車も嫌いなんです。どうしよう…。いいや! チェリープレジデント◎。(別に何かを狙っているわけではありません。こう呼ばせてください)

最後にもう1馬追加します。私の次兄をいれて長兄をいれないのはちょっとマズイ。高倉泰斗ベガに△印をつけてあげましょう。

○マヤノトップガン

▲ロイヤルタッチ

△エルウェーウィン、泰希フォーチュン、ジェニュイン、泰斗ベガ

◎チェリープレジデント

***** 予想はウソヨ 四国の井崎 *****

スプリンターズSは、昨年1、2着馬の出遅れ、大不利があったものの私の時計ベース通りにABCdの順に決まりました。こんなことは1年間に数回あるかどうかというものでした。しかし馬券ではBのエイシンの評価を下げてしまつて失敗。当たりはしたが残念。トゥインクルダンディ氏は◎◎2頭がハナ差決着とはお見事。本誌をしっかり守りましたね。

さあ今週はオーラス有馬ですね。自慢じゃないですがここ10年すべて外していますのでまったく自信が持てません。したがってこのレースでは観戦料を払って見せていただくという気持ちです。勝負どころは土曜日の3才重賞に置いております。

有馬記念

◎…サクラローレル ○…マヤノトップガン

▲…ファビラスラフィン、タイキフォーチュン △…ジェニュイン

ここ2戦が素晴らしかったタイム評価ですが、今回は絶対視できないことを断った上で上位を紹介します。

- A サクラローレル ここ4戦すべて黒字はこの馬だけ
- B ファビラスラフィン ここ2戦のタイムはすごい一言
- C マヤノトップガン 昨年有馬、今年の宝塚のタイムよし
- D タイキフォーチュン とにかくJCの時計は今年の1番です
- E ダンスパートナー 宝塚とJCの時計でこれが5番手です。

本命は一応サクラローレルとしますが、私の世代比較では、5才、7才、4才、6才の順位をつけております。最弱の6才世代というのがひっかかるので全幅の信頼は置けない。しかし、中山での金杯、中山記念、オールカマーの勝ちっぷりは半端じゃないものを感じる。

1番強い5才世代であり、G13勝でファン投票1位とくれば素直に考えてマヤノが1番強いということになる。気になるのは馬場状態。田原騎手も今の中山の馬場は合わないとコメントしている。5才馬の次点はG12勝のジェニュインでしょう。ペリエ騎乗は大変心強い。昨年本命にして見せ場もなく負けたのが非常に不可解。ダービー2着なんだから距離が持たないはずは無いでしょう。ただSS産駒の成長力という点ではこのメンバーで突き抜けるまでは考えにくい。

4才馬の内国産はレベルは低い。あくまで外国産4才馬しかこのメンバーでは勝負にならない。JCの時計は非常に速く、先週ヒシナタリーの圧勝を見せつけられるとJCで好走したファビラス、タイキは無視できない。JC激走から有馬へのローテーションは厳しくオグリキャップ、レガシーワールド、ヒシアマゾンと1人気になっては見せ場なく敗れており、サクラやマヤノがこのローテーションを嫌ってパスしている。しかしながら4才馬はJCは試走的な意味合いで出走しており比較的疲労度は少ないと思う。シンボリルドルフなんぞは菊から中1週でJC3着、そして有馬は楽勝した。その意味で4才ファビラスラフィン、タイキフォーチュンには大駆けの期待がかかる。◎◎2頭を負かすならこの2頭しか考えられない。特にファビラスは春に騒いだ割に、秋2戦とも買わずに悔しい限り。買うと来ない可能性が高いが、買わずに走られるよりはいい。上記5頭のBOXを軽く買って観戦します。単勝はパドックを見て買います。

3才戦はタイム重視でいけそう。

フェアリーS

◎ ヒシナイル

△ リズミカルノート、エムジーピッコロ、ビクタートウショウ

有馬では全く無視したヒシアマゾンの妹がここでは抜けている。

ラジオたんぱ杯3歳S

◎ ナイトシーカー

△ イチバンリュウ、テイエムトップダン、メイショウデンゲキ

夜の捜査官(Night Seeker)という名前ではG1ではどうかと思いますが、朝日杯の時に触れましたように、前走のタイムは平凡そうですが実は速いのです。人気もないので、単複と総流しまで。

最後にひとこと

平成8年の木馬会会報には皆 夢力しました。来年もがんばります。

第41回 有馬記念

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
						ローゼンカバリ	ロイヤルタッチ	マーベラスサンデー	マルカダイシス	マヤノトップガン	マイネルブリッジ	ホクトベガ	ファビラスラフィン	ヒシアマゾン	ダンスパートナー	タイキフォーチュン	ジェニュイン	サクラローレル	カネツクロス	エルウェーウィン	馬名
							△	△		△		▲	○	△				◎			トウインクルゲンディ
							○	△		▲			△	△		△		◎			TP
										△		△		▲		△	○	◎		△	へなりん
							△	△		△			△	◎				△		△	おけらくん
							○	▲		△		△	△	△				◎			ドロンジョ
									△			◎		△	○	△	▲	△			メーブルズ
							△			△			△	▲		◎	△	○			YO
								△		△				◎		△		◎			ミスターX
							△			△			○			◎	△	▲			心配御無用!
									×	○			×	▲				◎		×	ラッキー
													△	▲	○		◎				たりのラッキー
								△	△					○		▲	◎				ライオンシャワ
							▲			○		△				△	△	◎		△	ふえら

	朝日スP	S	有馬	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オス	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	功女	マイ	JC	阪北	朝日スP
トウインクルゲンディ	○	○			○	◎		○		○					○	○				☆
TP																				☆
へなりん																				
おけらくん																				
ドロンジョ																				
メーブルズ	○																			
YO																				
ミスターX																				
心配御無用!																				
ラッキー																				
たりのラッキー																				
ライオンシャワ																				
ふえら																				

○…20倍 ◎…20~50倍 ☆…50倍~

さて、今年も最後の大一番を迎えました。皆さん、今年の調子はいかがでしたでしょうか。終盤になってふえらさんの寄稿が加わり、また本誌争いも激化し、かなりの盛り上がりを見せております。

この1年間、寄稿、ご愛読いただきましてありがとうございました。来年もまたよろしく願いいたします。次号はまた追って、原電メール等でお知らせいたします。